

平成23年度

施策評価シート

No.1

推進目標	江差町の教育の推進	部門別計画(施策)	教育委員会総体
基本事業(施策)名	教育委員会費	担当係	学校教育課総務係
基本事業(施策)の対象	教育委員会に係る事務		
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の意見を聞くことによる教育行政の民意を反映した計画の決定 ・教育行政に関するより深い理解を得てもらうための啓発・周知 ・教育長が教育委員会を代表して教育委員会の対外的な活動を推進(教育長交際費) ・教育、スポーツ、文化活動において優秀な成績者への顕彰をすると共に江差町の教育、文化、スポーツの発展に寄与する。(奨励賞) ・教育長とPTA役員との教育懇談会の開催 		
事務事業の評価			
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性
教育委員報酬等	1,181,080	5	5
教育長交際費	116,553	5	5
教育委員会表彰	34,003	5	5
教育委員会の開催		5	5
教育長とPTA役員との教育懇談会の開催		5	5
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1			
江差町教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・定例教育委員会の開催ほか、町内の学校訪問・表彰式の挙行など優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。 ・平成23年度～平成27年度江差町教育推進計画「江差の教育を進めるために」の策定を行った。 	
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	
外部評価委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・新たな「江差町教育推進計画」に沿って教育政策を推進すること。 ・学校・関係機関との連携を深める努力を今後とも継続すること。 		

平成23年度

施策評価シート

No.2

推進目標	江差町の教育の推進		部門別計画(施策)	教育委員会総体		
基本事業(施策)名	事務局費		担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	教育委員会事務局に係る事務					
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・江差町奨学金運営委員会の開催、奨学金貸付の審査及び運営の助言 ・教育委員会の運営、事業の実施に係る事務、研修会等の出席、負担金等 ・教育委員会事務局職員に係る給料及び各種手当等(教育長含む14人分) 					
事務事業の評価						
施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	奨学金	6,860	5	4	5	
	事務局運営費	2,486,459	5	5	5	
	職員人件費	111,457,183	5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局運営に必要な経費(指導主事の配置等)及び教育委員会職員の人件費を支出しており、成果が上がっている。 ・補助団体等の経理に関連し、町教委として各会計事務の定期的な監査に取り組んだ。 				
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・奨学金については、社会的変化に対応した制度設計の検討を続けること。 ・奨学金の滞納整理について、滞納防止対策の検討を進めるとともに、整理について一層の努力を続けること。 ・職員総体で新「江差町教育推進計画」の具現化に向けて努力を続けること。 				

平成23年度

施策評価シート

No.3

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	小学校管理費	担当係	学校教育課総務係
基本事業(施策)の対象	小学校整備、教職員住宅管理、スクールバス運行事務		
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の校舎等教育環境の整備(江差小学校校舎耐震工事設計見直し・単価修正委託、耐震工事残分の予算化、電気暖房変圧器取替工事、浄化槽改修工事) ・教職員住宅49戸に係る維持補修 ・江差北小学校児童のための通学バス運行 		

事務事業の評価

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
教職員住宅	1,055,299	5	5	4	
スクールバス委託	7,644,340	5	4	5	
小学校整備事業	5,651,550	5	5	5	
町内小学校の設備保守点検	4,346,370	5	5	5	
小学校営繕	1,601,426	5	5	4	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)
 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

江差町教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・江差小学校校舎耐震工事設計見直し・単価修正委託、浄化槽改修工事、国の交付金を活用しての電気暖房変圧器取替改修工事の実施、スクールバスの運行等、学校及び児童の教育環境整備が図られた。教職員住宅の整備については、全ての要望に応えることができなかった。 ・江差小学校の残耐震工事(校舎)について、国の平成23年度第3次補正予算において予算化(平成24年度繰越明許)され、平成24年度中に完了する手続きが図られた。 	
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・江差小学校校舎の残耐震工事の完了に向けて実施設計修正が実施され、国の平成23年度第3次補正予算において予算化、平成24年度に完成したことは非常に喜ばしいことであり、引き続き危険性が明確になっている江差小学校屋内体育館の耐震工事を継続して実施していく努力をしていくこと。 ・江差北中学校の教室数が、昨今の特別支援学級の増加により不足気味になっていることに対する対応を平成24年度実施に向けて計画通り進めること。 ・学校の各種修繕等については各種制度を活用し、今後とも継続して取り組んでいくこと。 ・地域交通対策と相まったスクールバスの効果的活用について町との検討を継続すること。 	

平成23年度

施策評価シート

No.4

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	小学校管理	担当係	学校教育課学校教育係
基本事業(施策)の対象	小学校教育に関する学校運営及び施設管理		
基本事業(施策)の意図	《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》 ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・児童の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具及び学校図書 of 整備 ・学校施設の維持管理		

事務事業の評価

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
公務補の配置	6,143,949	5	5	5	
各種健診	1,934,762	5	4	5	
教材教具・消耗品の整備	7,645,339	5	5	4	
学校管理	24,394,105	5	4	4	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

江差町教育委員会	評価	・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の配置や修繕費の負担及び光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び児童(新就学児童含む)の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具を整備することが図られた。また学校運営に必要な一般備品、消耗品等を整備するとともに、学校図書(小学生新聞購読開始)の充実を図り、読書活動の推進に努めた。		
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する		
外部評価委員会の意見		・評価は妥当と認める。 ・公務補の業務の特殊性を考慮して待遇の改善について町部局と継続して検討すること。 ・学校施設の維持管理について、計画的な整備に努めること。		

平成23年度

施策評価シート

No.5

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	小学校教育振興費・学校給食費	担当係	学校教育課学校教育係
基本事業(施策)の対象	小学校の教育振興に係る事務		
基本事業(施策)の意図	<p>《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の加配を通じて個に応じた指導方法の工夫改善を実施し、個々の児童の学力の向上を図る。 ・ADHD・LDなどの学習障害を持つ児童に対する特別支援教育の充実 ・運動競技や外部講師による授業を通じ、心身共に豊かな児童の育成 ・低所得世帯の児童に対する学用品費や給食費等の援助 ・江差北小中学校における小中一貫教育の推進 ・「中1ギャップ」問題未然防止事業 ・小学校学習指導要領対策 		
事務事業の評価			
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性
小学校教育振興事務	517,580	5	4
特別支援教育支援員配置	3,993,472	5	5
江差町特別支援教育連絡会議の開催		5	4
江差町子どもの健康づくり推進会議の開催		5	4
退職教員等外部人材活用事業		5	4
民音学校コンサート開催(フルート・ピアノ)		5	5
要保護・準要保護生徒援助	2,512,942	5	5
小中一貫教育推進・「中1ギャップ」問題未然防止事業	609,828	5	4
小学校学習指導要領対策	4,147,246	5	5
<p>※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)</p> <p>増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1</p>			
江差町教育委員会	評価	<p>・町内の各学校に特別支援学級が設置されているが、普通学級においても学習障害、自閉症等で学校生活及び授業において支援を要する生徒が在籍しており、支援員を配置することにより、円滑な学校・学級運営に資することができる。平成23年度においては、江差小学校・南が丘小学校に各1名配置し、学校からは配置の継続、増員を要望されている。</p> <p>・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。</p> <p>・心身ともに豊かな児童の育成を目指すことを目的に、小体連の運営を補助した。</p> <p>・各種教育団体への補助を通じ、学校及び教職員の研修意欲を高めた。</p> <p>・教職員以外の外部の人材を活用し授業を行い、児童の興味、関心をひく授業を行うことができた。</p> <p>・小中一貫の意義の習得及び教師及び地域住民の気運の高まりが図られた。</p> <p>・「中1ギャップ」未然防止事業については、北海道からの委託事業であるが、小中一貫教育を推進する上では共通する部分もあり、小・中学校の円滑な接続に更なる期待と成果を望むことが出来た。</p> <p>・小学校学習指導要領の内容が大幅に変更となり、教育内容や教科指導に求められる内容も大きく変更され、使用する教科書の変更もあったことから、児童の学力確保のための標準的指導内容の把握と更なる充実のために教師用指導書の整備が図られた。</p>	
	事業の方向性	<input type="radio"/>	<p>さらに重点化する</p> <p>現状のまま継続する</p> <p>見直しのうえ継続する</p> <p>事業の縮小を検討する</p> <p>休止、廃止を検討する</p>
外部評価委員会の意見	<p>・評価は妥当と認める。</p> <p>・特別支援教育支援員については、ますますその必要性が高まっていると感じられるので、増員を図ること。</p> <p>・教職員に対する町独自の研修の継続を含め、教職員の各種研修についてより積極的に取り組み、教職員の質・指導力の向上を目指すこと。</p> <p>・児童の学力向上等を図るため、国・道制度を活用し、T.Tや習熟度別事業等の取組を継続すること。</p> <p>・中1ギャップ問題未然防止事業も包括する小中一貫教育推進事業は、校内活動についてはかなり推進が図られていると感じられるが、その成果の町内学校への拡大や周知について検討するとともに、地域の目に見える形で連携を深める方法等について検討していくこと。</p>		

平成23年度

施策評価シート

No.6

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	中学校管理費	担当係	学校教育課総務係
基本事業(施策)の対象	江差中学校整備、スクールバスの運行事務		
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の校舎等教育環境の整備(江差中学校耐力度調査、江差中学校整備検討委員会の設置) ・江差北中学校生徒のための通学バス運行 		

事務事業の評価

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
中学校教育環境整備事業	8,595,440	5	5	5	
スクールバス委託	7,568,050	5	4	5	
町内中学校の設備保守点検	685,860	5	5	5	
中学校営繕	1,255,459	5	5	4	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

江差町教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・江差中学校の老朽化に伴う改築に向けた耐力度調査が実施され、校舎及び体育館が危険建物と判定された。また、改築整備に向けてより良い中学校教育が出来る施設・環境について、質=ソフト、量=ハードの両面から検討するため、整備検討委員会を設置し、報告書が提出された。(計7回開催) ・時数は限定であるが、休日の部活動にも対応出来るスクールバスの運行が図られた。
----------	----	--

江差町教育委員会	事業の方向性	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する
		<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する
		<input type="checkbox"/>	見直しのうえ継続する
		<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する
		<input type="checkbox"/>	休止、廃止を検討する

外部評価委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・地域交通対策と相まったスクールバスの効果的活用について、町との検討を継続すること。 ・江差中学校の改築に向けて、交付金制度利用のための耐力度調査が実施され危険改築となることが確定する一方、より良い改築整備に向けて江中整備検討委員会が設置され報告書の提出がなされたことは、改築の第一歩として評価できる。引き続き平成24年度において早期の改築に向けて実施設計に取り組んでいることは喜ばしい事である。できるだけ早期の完成を期待する。
------------	--

平成23年度

施策評価シート

No.7

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	中学校管理	担当係	学校教育課学校教育係
基本事業(施策)の対象	中学校教育に関する学校運営及び施設管理		
基本事業(施策)の意図	《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》 ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・生徒の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具及び学校図書の整備 ・学校施設の維持管理		

事務事業の評価

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
公務補の配置	6,678,251	5	5	5	
各種健診	1,029,590	5	4	5	
教材教具・消耗品の整備	4,872,421	5	5	4	
学校管理	8,893,654	5	4	4	
楽器整備事業	882,000	5	5	5	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

江差町教育委員会	評価	・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の配置や修繕費の負担及び光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び生徒の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具を整備することが図られた。また学校運営に必要な一般備品、消耗品等を整備するとともに、学校図書の充実を図り、読書活動の推進に努めた。 ・国の交付金を活用して高額であるチューバ、クラリネットを各1台整備することが出来た。	
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	

外部評価委員会の意見	・評価は妥当と認められる。 ・公務補の業務の特殊性を考慮して待遇の改善について町部局と継続して検討すること。 ・学校施設の維持管理について、計画的な整備に努めること。 ・国の制度等を活用しながら、楽器等通常整備しづらい備品等の整備の継続を実施すること。
------------	---

平成23年度

施策評価シート

No.8

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	中学校教育振興費・学校給食費	担当係	学校教育課学校教育係
基本事業(施策)の対象	中学校の教育振興に係る事務		
基本事業(施策)の意図	《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》 ・部活動などを通じ、心身ともに健康で豊かな生徒の育成 ・低収入世帯の生徒に対する学用品費や給食費等の援助 ・中学校武道教育推進		

施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
中学校教育振興事務	111,000	5	4	4	
中体連等出場補助	1,397,777	5	4	3	
スクールカウンセラー活用事業		5	5	5	
要保護・準要保護生徒援助	4,447,635	5	5	5	
中学校武道教育推進	1,499,400	5	5	5	

※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

江差町教育委員会	評価	・特別支援教育を必要とする生徒は増加しておりそのニーズは高まっていることから、引続き支援員の増員を図る必要がある。 ・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。(前年度比で965千円増) ・心身ともに豊かな生徒の育成を目指し、また、保護者の負担を軽減することにより生徒が積極的に中体連や吹奏楽祭などに出場できるよう経費の一部を補助している。(団体競技の全道大会等の出場の減) ・平成24年度より中学校体育科に武道が必修科目となることから、江差北中学校に武道教育教材(柔道畳)の整備が図られた。(2ヶ年計画にて両中学校の整備完了)	
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	
外部評価委員会の意見		・評価は妥当と認める。 ・中学校においては、現在、特別支援教育支援員の配置はないが、高校においても特別支援教育に取り組まれている状況や小学校からの児童の進学に伴い、そのニーズは確実に高まっていると考えられるので、支援員の配置を図ること。 ・教職員に対する町独自の研修の継続を含め、教職員の各種研修についてより積極的に取り組み、教職員の質・指導力の向上を目指すこと。 ・武道(柔道)の授業導入に伴う事故等に十分対応した体制を構築すること。	

平成23年度

施策評価シート

No.9

推進目標	幼児教育の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	幼稚園管理費	担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	幼稚園に係る運営管理、事務				
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園への就園奨励費補助 ・江差幼稚園に対する運営費の一部補助 ・幼稚園教諭の出張、休暇等の際の代替教諭の雇用 ・あすなろ幼稚園事務(園長の報酬、運営に係る経費、施設の維持及び管理に係る経費、研修会等の参加)に係る経費 ・私立幼稚園支援事業(地域づくり総合交付金の活用) ・幼稚園舎の耐震改修工事の予算化 				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
幼稚園管理	4,660,222	5	4	4	
幼稚園代替教諭	191,880	5	5	5	
私立幼稚園就園奨励費補助金	1,080,000	5	5	4	
私立幼稚園運営補助	513,000	5	5	5	
幼稚園体験入園(未就園児対象)		5	5	5	
幼稚園教育支援事業(地域づくり総合交付金事業)	700,000	5	5	4	
<p>※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)</p> <p>増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1</p>					
江差町教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園への運営、事業費補助及び幼稚園就園奨励費補助金を支出し、幼稚園の安定的経営、保護者の負担軽減が図られた。 ・あすなろ幼稚園に係る運営体制を維持し、幼児教育の充実が図られた。また、未就園児を対象に、幼稚園体験入園を開催するなど、少子化の中、前年度並みの幼稚園児確保の取り組みが図られた。 ・江差小学校校舎と一体化している幼稚園舎の耐震改修工事費が国の平成23年度第3次補正予算において予算化(平成24年度繰越明許)され、平成24年度中に完了する手続きが図られた。 			
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・現在の少子化の進展を見据え、将来的な幼児教育や保育のあり方について、町部局との検討を継続すること。 			

平成23年度

施策評価シート

No.10

推進目標	家庭・地域の教育力の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	奨学金貸付事務	担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	奨学金の貸付事務				
基本事業(施策)の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・江差町に住所を有する者の子女で、高校、高等専門学校及び大学に進学を希望するも経済的理由により就学困難な者に対し、学資を貸与し、もって有能な人材の育成と確保を図る。 ・滞納整理の実施 				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
奨学金貸付	2,354,000	5	4	3	
奨学資金積立金	3,691,241	5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江差町教育委員会	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新規貸付については、就学に必要な奨学金を貸付し、保護者の負担軽減を図ることができたが、採用枠に対して内数であったため、5月広報により再募集の啓蒙を図ったが、結果として追加応募者がおらず目的達成度が減少した。(高校生等1名へ貸付) ・継続貸付者(大学等3名、高校等9名)への奨学金を貸付 ・償還金の滞納整理の実施に一層の努力が必要である。 			
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当と認める。 ・社会的変化に対応した制度設計の検討を続けること。 ・奨学金の滞納整理について滞納防止対策の検討を進めるとともに、整理について一層の努力を続けること。 			

平成23年度

施策評価シート

No.11

推進目標	子ども達の夢を育み、地域全体で支える 青少年・家庭教育活動 の充実	部門別計画（施策）	社会教育
基本事業（施策）名	社会教育総務費、生涯学習推進費	担当係	社会教育課社会教育係
基本事業（施策）の対象	①江差の特色を生かした青少年・家庭教育の充実 ②青少年健全育成のための安全安心な環境整備 ③親子の絆を深める子育て支援の充実		
基本事業（施策）の意図	1-1 郷土の自然や文化・歴史に感動する学習活動・体験機会の拡充 1-2 各種団体、組織などの活動を活用した体験・世代間交流機会の拡充 2-1 家庭・学校・地域が一体となった青少年健全育成活動の充実 2-2 ふるさとの一員として郷土愛を実感できる機会の拡充 2-3 家庭・学校・地域の教育力の向上 3-1 家庭の教育力を高める学習機会の充実 3-2 子育て支援環境の充実		
事務事業の評価			
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性 経済・効率性 目的達成度 備考
社会教育総務費・生涯学習推進費事業（ツトNo.11～12同額）		7,942,403	
1-1	冒険王クラブ活動		5 5 5
1-2	少年ふるさと学習(追分・尺八)、ふるさと江差発見学習、子ども百人一首大会		5 5 4
1-2	少年の主張江差町大会、ジュニアリーダー派遣など		5 5 5
2-1	各中学校区健全育成活動の支援、スクールガードの定着、子どもの居場所づくり		5 5 4
2-2	成人式・新成人を祝う会、古談トーク		5 5 4
2-3	三愛運動活動定着への支援、早寝・早起き・朝ごはん活動定着への支援		5 5 4
3-1	江差町PTA研究大会等の支援		5 5 4
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1			
江差町教育委員会	評価	○少年教育は、江差の宝である「江差追分」を全ての小・中学校で学習し郷土愛を育む授業を展開していることや、義務教育9年間で江差町の文化財施設見学や歴史を学び、わが町に誇りと自信を持たせる「ふるさと江差発見学習」を学校教育と融合を図るための体制づくりが確立された。 ○青年教育は、町外に多くの青年層が進学や就職で町外に流出している中で、成人式等に参加・交流することで、ふるさと江差の良さを再認識できる機会を提供している。 ○学校と連携の下、「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みを推奨し家庭教育の向上に努めている。 ○江差町青少年健全育成会議が中心となって、子どもの見守り活動やあいさつ運動を積極的に取り組んでいることや、安全安心啓発チラシを配付するなどをして町民に注意喚起し、安全安心なまちづくり等を推進している。 ○子どもの居場所づくりについては、場所の確保、人材の確保の課題が残されており、対象児童の把握や地域の連携について検討していく。	
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○青少年健全育成では、構成する団体と一定の地域連携は図られているが、今後においても「地域全体」への波及に向けて努めること。	

平成23年度

施策評価シート

No.12

推進目標		活気があり、人々が支え合い安心して生きる成人教育の充実		部門別計画（施策）		社会教育				
基本事業（施策）名		社会教育総務費、生涯学習推進費		担当係		社会教育課社会教育係				
基本事業（施策）の対象		①現代的課題に対応する学習活動の拡充 ②地域住民が支えあい学びあう地域活動への参加								
基本事業（施策）の意図		1-1 多様化・高度化する学習ニーズに応える学習・活動環境の充実 1-2 中・高齢者の学習機会・世代間交流機会・社会参加の充実 2-1 ボランティア活動への支援 2-2 協働のまちづくりの実践 2-3 地域間交流・国際交流の推進								
事務事業の評価										
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考			
	社会教育総務費・生涯学習推進費事業（9-12同額）		7,942,403							
1-1	社会教育団体(文化協会・体育協会等)への活動支援			5	4	4				
1-2	シニアカレッジ 江差学園の推進、えさしスクールの開催			5	5	4				
2-1	ボランティア団体への支援と連携			5	4	3				
2-2	江差学の推進			5	5	4				
2-3	国際留学生の集い、ホームステイ先の受入			5	5	4				
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1										
江差町教育委員会	評価	○高齢者教育は、主にシニアカレッジ江差学園を通して実施している。1年を通じて、生涯学習を目的としたカリキュラムを設定しながら学習している。毎年18の講座や研修旅行、学園祭においては成果品の展示のほか、世代間交流も進められている。23年度は4名が入学し在校生58名で運営しており、町民にもシニアカレッジが定着してきたと考えている。 ○一方で、成人教育向けの活動は乏しく、歴史・文化・スポーツ等あらゆる分野での担い手が必要とされている。関係機関と連携を図り整理した中で成人教育を検討しなければならない。 ○国際交流事業は、ホームステイ受入家庭の確保が難しい中で、23年度は1件を確保し中国と台湾の女性留学生2名を受入れることができた。小学生との異文化交流では、国際感覚を肌で感じることができた。今後においても、受入れ家庭の確保対策が引き続き課題となる。								
	事業の方向性	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する	<input type="checkbox"/>	見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/>
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○オーストラリアとの人的交流を終えて10年以上が経過し、今では留学生の受入が国際交流の一助をなしている。留学生受入の環境を整備し継続しての事業とすること。								

平成23年度

施策評価シート

No.13

推進目標	学び続け、自らを高め、明日を拓く 読書推進活動の充実	部門別計画(施策)	社会教育
基本事業(施策)名	図書館費	担当係	図書館図書係
基本事業(施策)の対象	①資料収集・提供 ②全域サービス ③すべての世代への読書推進		
基本事業(施策)の意図	1-1 資料・情報の収集と提供 1-2 学習支援・レファレンス機能の充実 1-3 読書環境整備と利用促進 2-1 移動図書館車の運行 2-2 配本所設定 3-1 ブックスタート及び関連事業 3-2 学校との連携 3-3 高齢者へのサービス		
事務事業の評価			
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性 経済・効率性 目的達成度 備考
	図書館費事業	11,423,289	
1-1	学習要求に応じた資料の購入・収集		5 3 4
1-2	道立図書館等との相互貸借、広域利用による利用圏の拡大		5 4 4
1-3	年末特別貸出、テーマ展示、読書週間、クリスマス会		5 4 4
1-3	冷暖房設備の増設と入口ドアの改修		5 4 5
2-1	移動図書館車の運行		5 4 4
3-1	両親学級、ブックスタート、あそびの広場		5 4 4
3-2	団体貸出し、調べ学習・利用体験の支援、学校との連携		5 4 4
3-3	高齢者向け大活字本の収集		5 3 3
<p>※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能)</p> <p>増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3</p> <p>あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1</p>			
江差町教育委員会	評価	<p>○資料費不足により住民の学習意欲に十分に答えられていない部分があるものの、相互貸借や横断検索等の図書館機能を発揮するための工夫をしている。23年度では、児童生徒の読書推進及び朝読書や調べ学習を支援するための資料整備として、図書館と各小中学校で共通利用できる資料529冊を国の交付金を活用し配置することができた。</p> <p>○移動図書館では距離的に図書館の利用が困難な地区の住民にサービスの提供ができたが、運行休止期間(学校長期休業等)の対策が必要とされる。</p> <p>○ブックスタート及びフォローアップ事業での子どもの発達段階に応じた取組みにより乳幼児期から継続して本に親しむ環境が整備されつつあり図書館利用にもつながっている。更に、ボランティアの積極的な活動により家庭教育・学校教育との連携が進んでおり、需要の増加に対応できるよう人材の養成と研修が必要とされる。</p> <p>○一人当たりの貸出し冊数が全道平均を下回っていることから、24~26年度の期間で利用促進を図るため、広報での利用促進周知・移動図書館車の臨時運行・事業所への呼びかけ等について、次年度より実施することを協議し対策を講じていく。</p>	
	事業の方向性	<p>さらに重点化する</p> <p>○ 現状のまま継続する</p> <p>見直しのうえ継続する</p> <p>事業の縮小を検討する</p> <p>休止、廃止を検討する</p>	
外部評価委員会の意見		<p>○評価は妥当と認める。</p> <p>○次年度は、24~26年度を強化期間に設定した初年度に当たるため、図書館の利用促進に向けての対策を講じること。</p>	

平成23年度

施策評価シート

No.14

推進目標		ふるさと江差の文化を高め、心豊かに生きる芸術文化活動の充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名		文化会館管理費・文化振興費		担当係	社会教育課社会教育係		
基本事業（施策）の対象		①芸術文化活動に対する支援 ②芸術文化に親しむ機会の拡充及び文化会館の利用促進 ③芸術文化環境の整備充実					
基本事業（施策）の意図		1-1 芸術文化活動への支援 1-2 芸術文化を活用した交流機会の充実 2-1 舞台芸術など鑑賞機会の充実 2-2 大規模コンベンションの誘致 3-1 芸術文化環境の管理運営 3-2 施設管理の充実					
事務事業の評価							
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	文化会館管理費・文化振興費事業		39,943,114				
1-1	江差町文化協会の運営と支援			5	5	4	
1-1	みちくさ事業(ギャラリー・コンサート)、みちくさ事業との合同発表、管内文化団体連絡協議会事業への参加支援			5	5	5	
1-1	江差町文化祭			5	5	4	
2-1	舞台公演・各種大会等の開催誘致、舞台発表行事への支援			5	3	3	
2-2							
3-1	指定管理者制度導入による貸館業務の充実			5	5	5	
3-2	文化会館施設の維持、舞台環境の維持			5	4	4	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1							
江差町教育委員会	評価	○町民文化祭の開催や、加盟団体及び町民による自主的発表の場としての「みちくさギャラリー及びコンサート」を実施してきた。単独開催ではなく複数の団体による開催という良い方向に向かっている。加盟団体は高齢化により解散・退会団体もあるが、新たな加入団体も増えつつある。 ○江差町文化会館は、民間能力を活用し快適で利用しやすいホールを目指し、貸館業務と施設管理の充実を図るため、23年度より指定管理者制度を導入した。情報交換を行いながら向上に努めてきた。 ○江差町文化協会との連携の中で、「檜コンサート」や管内文化団体連絡協議会の「合唱祭」等々が開催され、芸術文化に触れる機会を提供してきたが充分ではなく、今後は指定管理者の自主事業と連携を図りながら提供していきたい。 ○江差町文化会館は20年以上が経過し老朽化が進んでいる。23年度では、国の交付金等を活用しながら、電気設備・ボイラー・給水ポンプ等々の改修を行い、施設の維持を図ったところである。					
	事業の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○子ども達が、心豊かに成長するための情操を育むため、舞台芸術に触れる機会を提供するよう努めること。					

平成23年度

施策評価シート

No.15

推進目標	ふるさとの自然と、貴重な文化遺産を未来に伝える文化財・博物館活動の充実	部門別計画（施策）	社会教育			
基本事業（施策）名	文化財保護費	担当係	社会教育課地域文化係			
基本事業（施策）の対象	①ふるさとの資料を集める ②ふるさとについて調べる ③ふるさとについて発信する					
基本事業（施策）の意図	1-1 町内文化財の把握や町内外の資料収集と保管 2-1 調査・収集した事柄について町民とともに調査 3-1 調査・収集した事柄について町内外に発信					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	文化財保護事業費	9,068,402				
1-1	文化財の把握、郷土資料の収集・保管		5	5	4	
2-1	文化財の調査・保存、所蔵資料の調査・研究		5	5	3	
2-1	開陽丸遺跡の海底調査		5	5	5	
2-1	江差町郷土資料館友の会への協力		5	5	4	
3-1	各施設の常設展・企画展、教育普及活動		5	5	4	
3-1	学校との融合(追分授業・尺八授業・ふるさと学習)		5	5	5	
3-1	インターネットによる情報発信		5	5	4	
3-1	文化財施設の維持管理		5	4	4	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	○伝承が途絶えている「江差鹿子舞」について、保存団体と連携をとりながら復活に向けて活動して。その他、町内に所在する指定文化財については、所有者等と連携を密にし保存・伝承を図っている。 ○所蔵資料の調査・研究を受け、旧檜山爾志郡役所（江差町郷土資料館）の常設展や、旧中村家住宅・旧関川家別荘での、更なる展示充実を図っていく。 ○町内小中学校の授業において、郷土資料館や博物館活動を利用していただく機会が増えており、それぞれの授業内容に応じた資料の提供や人材の派遣を行う。 ○23年度で「開陽丸遺跡の海底調査」を実施した。開陽丸遺跡は海底に18m×12mの大型船体を残しており、この船体をフナクイムシやキクイムシからの被害を防ぐため、銅網やシートで被覆している。被覆以来20年を経過しているため潜水調査を実施したところ、大きな不都合がないことを確認し、更に堆積物が船体を保護している状況が伺えることを確認した。				
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○24年度から本格スタートする「ふるさと学習」が、わが町に誇りと自信を持たせる事業に発展することを望む。				

平成23年度

施策評価シート

No.16

推進目標		健康で楽しく、さわやかに生きる生涯スポーツの充実	部門別計画(施策)	社会教育		
基本事業(施策)名		保健体育総務費、体育施設費	担当係	社会教育課社会教育係		
基本事業(施策)の対象		①生涯スポーツの推進 ②生涯スポーツの環境の整備・充実				
基本事業(施策)の意図		1-1 生涯各時期に応じたスポーツの普及 1-2 地域の特性を生かしたスポーツの普及 1-3 学校体育授業及び部活動への支援 2-1 スポーツ活動の指導体制確立とスポーツ団体の育成 2-2 スポーツ施設の管理運営 2-3 スポーツ施設の有効利用				
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	保健体育総務費、体育施設費事業	18,040,882				
1-1	夏休みこどもスイミングスクール、冬休みこどもスキーレッスン		5	5	4	
1-1	アイスホッケーの奨励・推進、アイスホッケー団体・サークル活動の支援		5	5	4	
1-1	アイスホッケー少年団交流大会、管内アイスホッケーフェスタ、体協まつり、マスターズ陸上江差大会など		5	5	5	
1-2	江差カップオープンヨットレース、スノーホッケー普及事業		5	4	3	
1-3	学社融合アイス授業、アイスホッケー少年団部活動への支援		5	5	4	
2-1	アイスホッケー推進委員、アイスホッケー少年団認定養成		5	5	4	
2-1	江差町体育協会・江差町アイスホッケー少年団本部との連携		5	5	4	
2-2	スポーツ施設の管理(施設修繕・芝生整備含む)		5	5	4	
2-2	AEDの設置、普通救命講習の開催		5	5	5	
2-3	体育協会加盟団体及びアイスホッケー少年団への支援、学校体育開放事業		5	5	4	
2-3	江差港マリナ・開陽丸センターとの連携、まなびっく(体育館)との連携		5	5	4	
2-3	施設の専門性・地域の特色を生かした合宿・大会誘致		5	5	5	
	学校給食センター負担金	37,598,000				
<p>※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能)</p> <p>増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3</p> <p>あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1</p>						
江差町教育委員会	評価	<p>○子どもの体力低下が叫ばれる中、地域の特性を生かした水泳スクールやスキーレッスンを始め多くの児童が参加し、スポーツに興味を抱くカリキュラムを提供している。一方で、リサイクルスキーで回収していた在庫カービングスキーのチューナップ補修整備により、ある程度の中・小学生のスキー不足が解消されている。</p> <p>○町内会や愛好者が主体的に、手作りパークゴルフ場(3箇所)の管理についてボランティアで実施されており、地域コミュニティの確立も醸成されている。</p> <p>○運動公園管理人及び水堀町民プール管理人を対象に普通救命講習を実施し、安全管理の確保に努めている。</p> <p>○ライフスタイルが多様化する中で、多種多様なスポーツや健康づくりの気運を高めるための取組みが不足しており、町民一人ひとりが健康づくりをできるように積極的に情報提供することが必要である。</p> <p>○プロ野球イースタン・リーグ公式戦を、実行委員会を設立し町民挙げて成功に向けての準備・運営をし、スタッフを加え約2,000人が球場に足を運んでいただいたところであり、天気にも恵まれ成功裡に終了した。数年後には再度誘致を目指したい。</p>				
	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		<p>○評価は妥当と認める。</p> <p>○檜山唯一の公認である運動公園陸上競技場は、24年度が公認最終年度となるが、今後においても継続して公認取得ができる体制を構築すること。</p>				